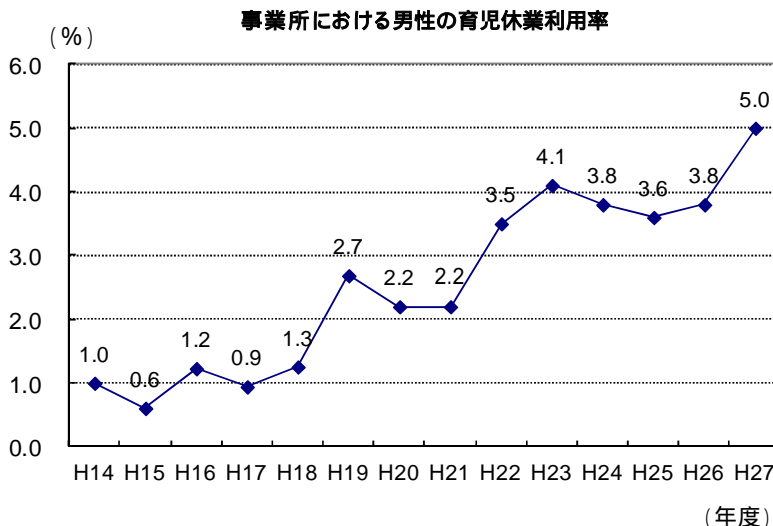


(8) 男性の育児休業利用状況

男性の育児休業利用割合は、5.0%と前年度から大幅増となっているが依然低い水準にある。

事業所における男性の育児休業利用割合は、前年度に比べ1.2ポイント増加して5.0%となりましたが、依然低い水準にあります。

グラフ 19



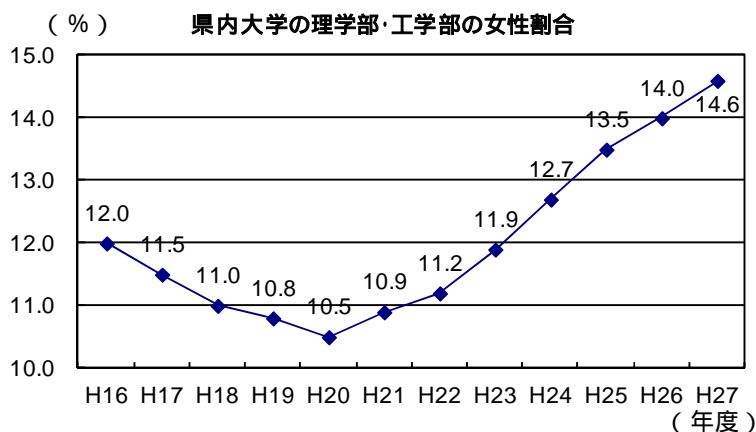
3 教育

1 県内大学の理学部・工学部の女性割合

県内大学の理学部・工学部の女性割合は、14.6%と7年連続で増加している。

平成 20 年度以降、県内の理学部・工学部の女性の割合は増加の傾向にあり、平成 27 年度は 14.6%となっており、前年度より 0.6 ポイント増加しました。

グラフ 20



(H18 までは、「神奈川の大学統計」より作成)

(H19 以降は「神奈川県学校基本調査結果報告」により作成)

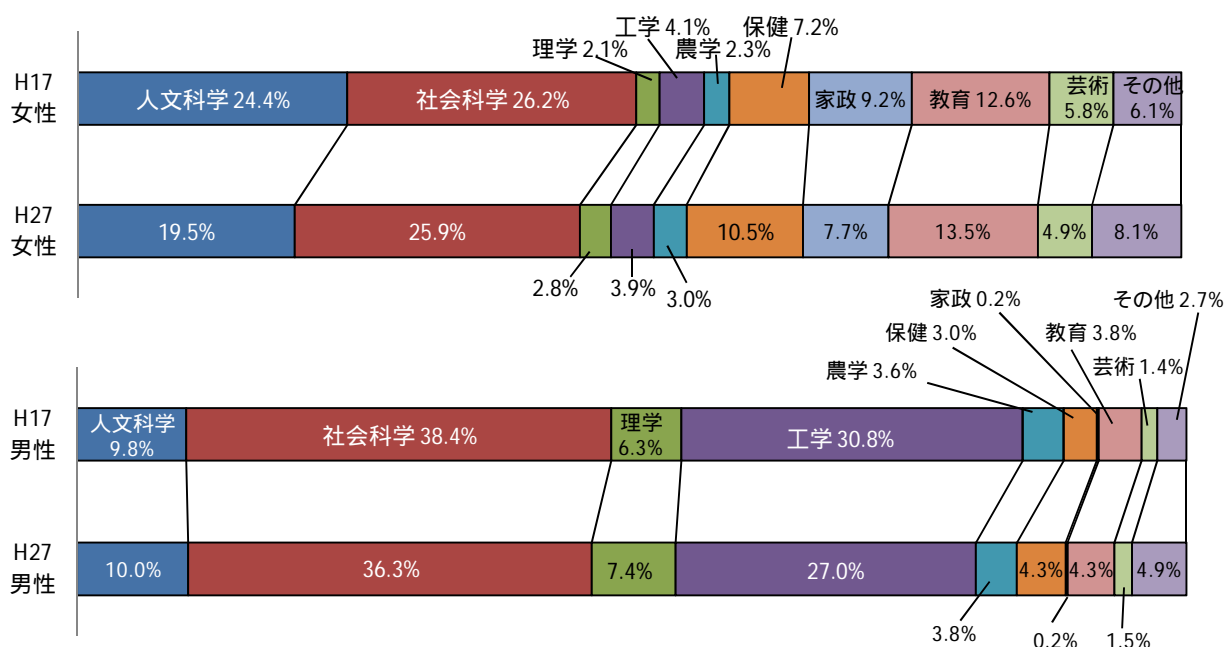
2 県内公立高等学校等卒業者の大学・短期大学の進学状況

県内公立高校等卒業者の女性の理・工学部への進路選択は、人文・社会科学部に比べると依然として少ない。

平成 27 年度の「公立高等学校等卒業者の進路状況調査」で、県内公立高等学校等卒業者の進学状況は、学部別にみると、女性の割合は男性と比べて人文科学などが多く、理・工学部への進路選択が少ない状況です。

平成 17 年度と比べると、女性は、理学部が 2.8%と 0.7 ポイント増加し、工学部が 3.9%と 0.2 ポイント減少しました。

グラフ 2 1 大学・短期大学の学部別割合



(神奈川県「公立高等学校等卒業者の進路状況調査」より作成)